

プログラム

◆8月22日(土) 1日目:第1会場(上條講堂 1階)

特別講演

(10:40~11:40)

オーガナイザー兼座長:明治薬科大学 名誉教授 緒方 宏泰

医薬品の費用対効果

国際医療福祉大学薬学部 教授

○池田 俊也

◆8月22日(土) 1日目:第1会場(上條講堂 1階)

基調講演

(10:10~10:40)

オーガナイザー:昭和大学薬学部 薬学教育学講座 教授 木内 祐二
座長:昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 地域医療薬学部門 教授 倉田なおみ

チーム医療の新しいカタチ

昭和大学薬学部 薬学教育学講座 教授

○木内 祐二

◆8月22日(土) 1日目:第1会場(上條講堂 1階)

教育講演1

(13:10~14:10)

オーガナイザー兼座長:明治薬科大学 名誉教授 緒方 宏泰
座長:昭和大学 統括薬剤部長 昭和大学薬学部 病院薬剤学 教授 佐々木忠徳

ES1 薬物治療を担う薬剤師~ファミリーの作成~

聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 参与

○増原 慶壮

◆8月23日(日) 2日目:第1会場(上條講堂 1階)

教育講演2

(14:50~15:50)

オーガナイザー兼座長:昭和大学薬学部 薬学教育学講座 教授 木内 祐二

ES2 地域のチーム医療の新しいカタチ

ファルメディコ株式会社 代表取締役社長

○狭間 研至

◆8月22日(土) 1日目:第1会場(上條講堂 1階)

シンポジウム1

(14:30~16:00)

診療ガイドライン作成に参画しよう ~科学的根拠に基づく薬物治療とは~

オーガナイザー・座長兼演者:東京理科大学薬学部 医療安全学研究室 教授 小茂田昌代
座長:慶應義塾大学薬学部 薬学研究科 実務薬学 教授 木津 純子

S1-1 診療ガイドライン作成に参画しよう ~科学的根拠に基づく薬物治療とは~

東京理科大学薬学部 医療安全学研究室 教授
○小茂田昌代

S1-2 EBMの手法を用いた診療ガイドライン作成における多職種連携の重要性

東京女子医科大学 衛生学公衆衛生学第二講座 准教授
○小島原典子

S1-3 脳神経外科領域におけるガイドライン策定関与の一例

東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 先端工学外科学分野 特任助教
○生田 聡子

S1-4 褥瘡ガイドラインにおける薬剤師が作成した科学的根拠の導入

医療法人愛生館 小林記念病院 褥瘡ケアセンター センター長
○古田 勝経

◆8月23日(日) 2日目:第1会場(上條講堂 1階)

シンポジウム2

(9:40~11:10)

病院のチーム医療の新しいカタチ

オーガナイザー兼座長:昭和大学薬学部 病院薬剤学講座 昭和大学藤が丘病院 薬局 教授・薬局長 向後 麻里
座長:横浜市立大学附属市民総合医療センター リハビリテーション科 助教 若林 秀隆

S2-1 2015年に考える『来るべき未来のためのチーム医療』

昭和大学病院 リウマチ膠原病内科 助教
○高橋 良

S2-2 チーム医療の中での病院歯科の役割

昭和大学病院 歯科
○岡松 良昌

S2-3 病院のチーム医療の新しいカタチ

昭和大学病院 看護部
○脇谷美由紀

S2-4 薬剤師の立場から考えるチーム医療の現状と今後の展望

昭和大学病院 薬局
○北原加奈之

◆8月23日(日) 2日目:第2会場(4号館教室 6階 600号)

シンポジウム3

(9:40~11:10)

入院から地域への橋渡し~精神科チームの取り組み

オーガナイザー:昭和大学薬学部 病院薬剤学講座 准教授 齋藤 勲
座長:一般社団法人 品川薬剤師会 会長 加藤 肇

S3-1 多職種と連携した精神科チーム医療における入院から在宅までの薬剤師の役割

昭和大学附属烏山病院 薬局・昭和大学薬学部 病院薬剤学講座 助教
○永井 努

S3-2 精神科訪問看護に求められる薬剤師の役割

昭和大学医学部 精神医学講 准教授
○高塩 理

S3-3 在宅精神科患者の服薬アドヒアランスの向上を目指して

昭和大学附属烏山病院 看護部 訪問看護室
○西村 有美

◆8月23日(日) 2日目:第1会場(上條講堂 1階)

シンポジウム4

(13:10~14:40)

在宅チーム医療のこれから

オーガナイザー:昭和大学薬学部 物性解析薬学講座 薬品物理化学部門 助教 日下部吉男
座長:昭和大学薬学部 薬物療法学講座 臨床薬学部門 部長・教授 山元 俊憲

S4-1 在宅チーム医療のこれから

文部科学省 高等教育局 医学教育課
○前島 一実

S4-2 大阪大学の地域チーム医療を担う薬剤師養成プログラム

大阪大学大学院 薬学研究科 附属薬学地域医療教育研究センター
○平田 收正

S4-3 在宅チーム医療教育推進プロジェクト

昭和大学薬学部 臨床薬学部門 助教
○大林 真幸

S4-4 富士北麓地域における在宅チーム医療の試み

勝山診療所 所長
○穂坂 路男

◆8月23日(日) 2日目：第2会場(4号館教室 6階 600号)

シンポジウム5

(13:10~14:40)

救急領域チーム医療

オーガナイザー兼座長：昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 医薬品評価薬学部門 教授 岩井 信市

S5-1 救急領域チーム医療

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 救急薬学分野 教授
○名倉 弘哲

S5-2 チーム医療の推進のための看護師の特定行為研修制度と活動の実際

日本看護協会 看護研修学校 認定看護教育課程 救急看護学科
○木澤 晃代

S5-3 救命救急センターにおける薬剤師業務の現状と展望

日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター¹⁾、日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部²⁾
○松田 潔¹⁾、菊池 広子¹⁾、石丸 直樹¹⁾、遠藤 広史¹⁾、山村 英治¹⁾、渡邊 顕弘¹⁾、
長谷川智宏¹⁾、笠原 英城²⁾、野口 周作²⁾、小林 正人²⁾

◆8月22日(土) 1日目：第2会場(4号館教室 6階 600号)

ランチョンセミナー1

(11:50~12:50)

座長：帝京大学ちば総合医療センター 薬剤部長 清水 秀行

高齢者・認知症患者に適する剤形は？

昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 地域医療薬学部門 主任教授
○演者：倉田なおみ

共催：エーザイ株式会社

◆8月22日(土) 1日目：第3会場(4号館教室 5階 500号)

ランチョンセミナー2

(11:50~12:50)

座長：日本大学薬学部 実践薬学系 医療コミュニケーション学研究室 教授 亀井美和子

薬剤師の在宅医療における役割とジェネリック医薬品の活用

株式会社メディカルグリーン 代表取締役社長、
一般社団法人全国薬剤師・在宅療養支援連絡会(J-HOP) 会長
○大澤 光司

共催：持田製薬株式会社

◆8月22日(土) 1日目：第4会場(4号館教室 4階 401号)

ランチョンセミナー3

(11:50~12:50)

糖尿病治療薬の変遷と薬剤師の役割

座長：みどり薬局 坂口 眞弓

北里大学薬学部 臨床薬学研究教育センター 薬物治療学 I、北里大学病院 薬剤部長
○厚田幸一郎

共催：株式会社三和化学研究所

◆8月23日(日) 2日目：第2会場(4号館教室 6階 600号)

ランチョンセミナー4

(12:00~13:00)

座長：昭和大学 統括薬剤部長 佐々木忠徳

がんに対する分子標的薬や免疫療法薬の副作用

昭和大学医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門 教授
○佐々木康綱

共催：沢井製薬株式会社

◆8月23日(日) 2日目：第3会場(4号館教室 5階 500号)

ランチョンセミナー5

(12:00~13:00)

座長：聖マリアンナ医科大学病院薬剤部 参与 増原 慶壮

感染症の適正薬物治療に関する最新情報

聖マリアンナ医科大学内科学総合診療内科 准教授

○國島 広之

共催：東和薬品株式会社

◆8月23日(日) 2日目：第4会場(4号館教室 4階 401号)

ランチョンセミナー6

(12:00~13:00)

座長：東邦大学医療センター大森病院 薬剤部長 西澤 健司

簡易懸濁法の基礎

昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 地域医療薬学部門 主任教授

○倉田なおみ

共催：協和化学工業株式会社

◆8月22日(土) 1日目：第5会場(4号館教室 4階 402号)

ワークショップ1

(13:00~14:20)

ゲームで学ぶ、在宅医療における感染予防対策

オーガナイザー兼座長：北海道薬科大学 社会薬学系 薬事管理学分野 准教授 岸本 桂子

講師 独立行政法人労働者健康福祉機構 横浜労災病院 薬剤部 部長

○松田 俊之

◆8月22日(土) 1日目：第6会場(2号館 4階 大学院セミナー室)

ワークショップ2

(13:00~14:20)

糖尿病早期発見の取り組み～糖尿病診断アクセス革命～

オーガナイザー兼座長：みどり薬局 坂口 眞弓

講師 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 准教授

○矢作 直也

◆8月22日(土) 1日目:第3会場(4号館教室 5階 500号)

ワークショップ3

(14:30~16:00)

症例検討~薬局編~ 症例から保険薬局での服薬指導を考える

オーガナイザー兼座長:東京女子医科大学 循環器内科 准教授

志賀 剛

座長:琉球大学医学部 臨床薬理学 教授

植田真一郎

講師 ダビガトラン服用中に脳梗塞を来たした例

東京女子医科大学病院 臨床研究支援センター

○長沼美代子

講師 症例検討~薬局編~ 症例から保険薬局での服薬指導を考える

社会医療法人明和会 中通総合病院

○角南由紀子、田近 武伸、原嶋 宏樹、栗崎 博

◆8月23日(日) 2日目:第7会場(5号館 3階 実習室)

ワークショップ4

(13:10~15:10)

簡易懸濁法

オーガナイザー兼座長:昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 地域医療薬学部門 教授

倉田なおみ

ファシリテータ フローラ薬局河和田店

○篠原久仁子

ファシリテータ 大森赤十字病院 薬剤部

○大橋 啓子

ファシリテータ 日本調剤 池尻大橋薬局

○源田 治紀

共催:簡易懸濁法研究会

協和化学工業株式会社

◆8月22日(土) 1日目:第2会場(4号館教室 6階 600号)

一般演題1

(16:15~16:55)

座長:武蔵野大学薬学部 薬学科 教授 三原 潔

O1-1 精神疾患治療薬が嚥下機能に及ぼす影響

昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 地域医療薬学部門¹⁾、昭和大学薬学部 病院薬剤学講座²⁾、
昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔リハビリテーション医学部門³⁾、
昭和大学医学部 精神医学講座⁴⁾

○古屋 宏章¹⁾、杉沢 諭²⁾、永井 努²⁾、野末 真司³⁾、上杉 雄大³⁾、横山 薫³⁾、
常岡 俊昭⁴⁾、稲本 淳子⁴⁾、高橋 浩二³⁾、倉田なおみ¹⁾

O1-2 救命できなかった高齢のテオフィリン (TEO) 中毒患者からのメッセージ

武蔵野赤十字病院薬剤センター¹⁾、武蔵野赤十字病院 臨床研修部²⁾、
(現) 洛和会音羽病院 総合診療科³⁾

○相原 史子¹⁾、吉田 常恭^{2,3)}

O1-3 高齢者福祉センターによるお薬セミナーの実施効果

高崎健康福祉大学 薬学部 地域医療薬学研究室

○土井 信幸

O1-4 家庭内血圧のモニタリングからみた薬剤師中間介入の意義

北海道ファーマライズ株式会社 ひまわり薬局¹⁾、
医療法人北海道家庭医療学センター 本輪西ファミリークリニック²⁾

○佐藤 一生¹⁾、中村 創¹⁾、佐藤弘太郎²⁾、草場 鉄周²⁾

◆8月22日(土) 1日目:第3会場(4号館教室 5階 500号)

一般演題2

(16:15~16:55)

オーガナイザー兼座長:昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 医薬品評価薬学部門 教授 岩井 信市

O2-1 血管拡張剤アダラート CR 錠の後発医薬品変更における有効性・安全性評価

昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 医薬品評価薬学部門

○竹本 伊織、亀井 大輔、高田 昂輔、秋山 加菜、板橋 祐太、小山田 茜、稲寄 雅夫、
岩井 信市

O2-2 パッチテストを活用した接触皮膚炎の原因化粧品の調査研究

フローラ薬局河和田店¹⁾、昭和大学薬学部²⁾、くらのクリニック³⁾

○篠原久仁子^{1,2)}、蔵野みのり³⁾、三道 悦子^{1,2)}、深澤 尚子^{1,2)}、伊藤 洵子²⁾、倉田なおみ²⁾、
木内 祐二²⁾、山元 俊憲²⁾

O2-3 妄想性障害患者に対する薬剤調整への関与

昭和大学薬学部 薬物療法学講座臨床薬学部門¹⁾、昭和大学薬学部 病院薬剤学講座²⁾、
昭和大学医学部 精神医学講座³⁾

○篠内 良介¹⁾、神山 紀子¹⁾、杉沢 諭²⁾、佐賀 信之³⁾、常岡 俊昭³⁾、佐々木忠徳²⁾、
平岡 千英¹⁾、大林 真幸¹⁾、小林 靖奈¹⁾、山元 俊憲¹⁾

O2-4 トホグリフロジンからみた新規医薬品の副作用情報の不足点と対応について

越谷市立病院 薬剤科¹⁾、腎移植フォローセンター余丁町クリニック 薬剤部²⁾、
新座病院 薬剤科³⁾、関東労災病院 薬剤部⁴⁾、横浜総合病院 薬剤科⁵⁾、前橋北病院 薬局⁶⁾、
明治薬科大学 名誉教授⁷⁾

○中田 和宏¹⁾、堀内 淳子²⁾、金井 紀仁³⁾、林 洋子⁴⁾、佐村 優⁵⁾、山岡 和幸⁶⁾、
緒方 宏泰⁷⁾

◆8月23日(日) 2日目：ポスター会場(上條講堂 1階 ホワイエ)(2号館 1階 ピロティ)

ポスター示説

(11:20~11:50)

P-1 内服用カリウム製剤による経管栄養チューブ閉塞に関する検討

群馬県立小児医療センター 薬剤部¹⁾、群馬県立小児医療センター 医療安全管理室²⁾

○高山 広志¹⁾、大島 裕之¹⁾、石田 拓也¹⁾、高橋 和子¹⁾、佐藤真理子¹⁾、橋場 尚子¹⁾、
亘 啓子²⁾、木暮 政恵¹⁾

P-2 全身性エリテマトーデス患児への関わり

昭和大学病院

○小川 洋佑、小川 泰葉、北原加奈之、佐々木忠徳

P-3 免疫グロブリン不応の難治性川崎病患児に対する薬物治療への介入

昭和大学病院¹⁾、昭和大学薬学部病院 薬剤学講座²⁾、昭和大学横浜市北部病院³⁾

○岡田菜津美^{1,2)}、小松 千絵³⁾、小川 泰葉^{1,2)}、北原加奈之^{1,2)}、佐々木忠徳^{1,2)}

P-4 肺血栓栓症を合併した原発不明癌患者の疼痛管理への関わり

昭和大学病院¹⁾、昭和大学病院 薬剤学講座²⁾

○田中 道子^{1,2)}、金 正興¹⁾、北原加奈之^{1,2)}、佐々木忠徳^{1,2)}

P-5 疥癬新規治療法イバルメクチン全身浴法に関する臨床試験(中間報告)

東京理科大学薬学部¹⁾、東京理科大学大学院薬学部²⁾、新山手病院³⁾、
つばさ在宅クリニック⁴⁾

○越野 万智¹⁾、赤木 圭太²⁾、吉増 孝嗣¹⁾、阿久津駿太¹⁾、山田 瑞稀¹⁾、頓宮 美樹³⁾、
牧上久仁子⁴⁾、廣田 孝司^{1,2)}、小茂田昌代^{1,2)}

- P-6 **化学療法予定のB型肝炎ウイルス陽性患者への関わり**
昭和大学病院附属東病院 薬局¹⁾、昭和大学薬学部 病院薬剤学講座²⁾、
昭和大学横浜市北部病院 薬局³⁾、昭和大学病院 薬局⁴⁾
○山田 寛子^{1,2)}、坂本 恵³⁾、小泉 史子⁴⁾、縄田 修一^{2,3)}、市倉 大輔²⁾、
北原加奈之^{2,4)}、鈴木 康介^{2,4)}、佐々木忠徳^{2,4)}
- P-7 **医薬品プロモーション用印刷物で補うべき医薬品情報**
新座病院¹⁾、前橋北病院²⁾、越谷市立病院³⁾、戸田中央総合病院⁴⁾、西東京中央総合病院⁵⁾、
明治薬科大学 名誉教授⁶⁾
○金井 紀仁¹⁾、山岡 和幸²⁾、中田 和宏³⁾、宮本 拓也⁴⁾、吾妻 隼斗⁵⁾、緒方 宏泰⁶⁾
- P-8 **主な関節リウマチ治療薬の臨床薬物動態の決定因子の解析**
明治薬科大学 薬剤学 客員研究員¹⁾、明治薬科大学 名誉教授²⁾
○川名 純一¹⁾、緒方 宏泰²⁾
- P-9 **C型慢性肝炎の3剤併用療法における3種のプロテアーゼ阻害薬の評価**
武蔵野大学薬学部 臨床薬学センター
○神山 侑子、吉井 智子、小川 潤子、小川ゆかり、小清水治太、小島可寿子、田島 純一、
西牟田章戸、三原 潔、小野 秀樹
- P-10 **子宮頸癌ワクチン ～メタアナリシスによる安全性の検討～**
武蔵野大学薬学部 臨床薬学センター
○武井日向子、三原 潔、小川 潤子、小川ゆかり、小清水治太、小島可寿子、田島 純一、
西牟田章戸、吉井 智子、小野 秀樹
- P-11 **高齢脳卒中患者における誤嚥性肺炎予防**
武蔵野大学薬学部 臨床薬学センター
○小鹿 里歩、小川ゆかり、小川 純子、小清水治太、小島可寿子、田島 純一、西牟田章戸、
吉井 智子、三原 潔、小野 秀樹
- P-12 **アルコール依存症治療におけるアカンプロサートの位置付け**
武蔵野大学薬学部 臨床薬学センター
○山崎 成美、小川 潤子、小川ゆかり、小清水治太、小島可寿子、田島 純一、西牟田章戸、
吉井 智子、三原 潔、小野 秀樹
- P-13 **SGLT2阻害薬における市販後の有害事象発生状況及び評価**
武蔵野大学薬学部 臨床薬学センター
○神山 美里、小島可寿子、小川 潤子、小川ゆかり、小清水治太、田島 純一、西牟田章戸、
吉井 智子、三原 潔、小野 秀樹
- P-14 **プラスグレルの適正使用に関する検討 ～医薬品情報評価から使用調査まで～**
医療法人社団緑成会 横浜総合病院 薬剤科
○廣瀬 直樹、内田 仁樹、川名 絢子、腰岡 桜、山本 隼也、井上 純樹、仙内 光子、
石井 淳一、佐村 優、関根 寿一

P-15 エドキサバンの適正使用に向けた取り組み

医療法人社団緑成会 横浜総合病院

○内田 仁樹、腰岡 桜、青木 均文、石井 淳一、南雲 史雄、鯉淵 寛之、廣瀬 直樹、
倉田 武徳、佐村 優、関根 寿一

P-16 SGLT2 阻害薬の院内適正使用に関する検討 ～医薬品情報評価と使用調査から～

医療法人社団緑成会 横浜総合病院 薬剤科

○小川 寿子、佐村 優、平田 彩子、仙内 光子、腰岡 桜、内田 仁樹、山本 隼也、
井上 純樹、石井 淳一、関根 寿一

P-17 日本におけるアタマジラミ症治療薬整備に向けた探索的研究

東京理科大学薬学部¹⁾、東京理科大学大学院薬学部²⁾、東京理科大学大学院理工学部³⁾、
琉球大学医学部附属病院⁴⁾、国立感染症研究所ハンセン病研究センター⁵⁾

○梁瀬加寿子¹⁾、赤木 圭太²⁾、吉増 孝嗣¹⁾、白石 有美¹⁾、金谷 有紗¹⁾、茂木 嶺志³⁾、
廣田 孝司^{1,2)}、高橋 健造⁴⁾、石井 則久⁵⁾、小茂田昌代^{1,2)}

◆8月22日(土) 1日目：第1会場(上條講堂 1階)

委員会活動報告

(16:00~16:30)

保険薬局委員会報告

座長：明治薬科大学 名誉教授 緒方 宏泰

明治薬科大学

○赤沢 学

OTC薬検討委員会報告

昭和大学薬学部 社会健康薬学講座

○亀井 大輔

特別講演
